

研究課題：早期興奮症候群に対するアデノシン三リン酸負荷の有用性(後ろ向き研究)

1. 研究の目的

体表心電図でデルタ波を認める房室副伝導路の多くは無症候性ですが、突然死リスクがあるため適切な診断と管理が必要となります。一方で束枝-心室副伝導路もデルタ波を認めますがリスクはありません。アデノシン三リン酸負荷は両者の鑑別診断が可能で、管理方針決定に有用であるか検討する事が研究の目的です。

2. 研究の方法

学校心臓検診で WPW 症候群と診断され当院に紹介受診された患者様のうちで、2008 年 4 月から 2022 年 3 月までにアデノシン三リン酸負荷試験を行った患者様が対象となります。診療録から後方視的に、性別、年齢、心電図(波形や計測値)、アデノシン三リン酸投与量、有害事象の有無などの情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2023 年 9 月（倫理委員会で承認を得られた日）から 2024 年 8 月までの1年間です。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテの記載や画像から、検査に関する事柄（画像、検査所見など）を調べまとめます。心電図画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：循環器科 医長 古河 賢太郎
研究分担者：循環器科 科長兼部長 星野 健司

研究分担者：循環器科	副部長	河内 貞貴
研究分担者：循環器科	医長	百木 恒太
研究分担者：循環器科	医員	橘高 恵美

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）